

里庄町立 図書館ニュース



里庄中学校 作品棚より

第334号
令和3年3月

お知らせ

館内利用について

新型コロナウイルス感染拡大防止対策をして、ほぼ通常どおり開館しています。

来館者の皆様には、新型コロナウイルス感染拡大防止の趣旨をご理解いただき、次の点にご協力ください。

- ・マスクを着用する。
- ・せきや発熱等の風邪症状のある方は、利用を控える。
- ・入館時、自動体温測定器で体温測定をする。
- ・長時間の滞在は、控える。
- ・入館・退館の際には、手を消毒する。

「ふくちゃん 読書手帳」の利用を



読んだ本を記録するための読書手帳です。読書手帳をつければ、「この本読んだっけ?」「読んだ本だった!」「読んだ本が思い出せない!」などの悩みがなくなり便利です。読書手帳は、図書館カウンターにあります。

なお、10冊ごとにスタンプを1つ押します。50冊、100冊読んだ人には、図書館オリジナルグッズをさしあげます。

「こどものへや」改装

「こどものへや」を改装し、幼児への読み聞かせに適した部屋にしました。そして、名前も「おはなしのへや」に変更しました。併せて、授乳コーナーも整備し、授乳やおむつ替えもしやすくなりました。ぜひ、ご利用ください。

インターネットで里庄町立図書館のホームページを開いてみよう。

里庄町立図書館のホームページに蔵書検索機能があるのはご存じですか? 自宅にいながら、本やCDが検索でき、さらに現在貸出中かどうか分かります。その中でも特にお勧めするのが、朗読CDです。プロによる文学作品の朗読は一味違います。効果音もあり、臨場感があります。すでに活字で読んだ方も、初めての方も、目の不自由な方も、読むのが苦手な方も、ぜひ一度、耳で聞く読書を楽しんでみてください。

「佐藤清明」特設サイトを開設

佐藤清明（1905～1998）は、日本で初めての妖怪事典を出版した里庄出身の博物学者です。また、佐藤清明の業績を研究するための団体「清明研究会」の活動の様子などをのせています。忘れられた知の巨人「佐藤清明」に興味のある方、ぜひご覧ください。

お願い

図書館の本は町民みんなの財産です。

大切に扱ってください。

無断で持ち出さないでください。

返却期限を守ってください。

万一、壊れたり、破れたりしたときは、自分で直さないで、返却時に職員にお知らせください。

図書館利用バリアフリー運動

里庄町立図書館では、すべての人に気持ちよく、安心して利用していただくために、施設や設備にさまざまな心配りがなされています。玄関のスロープ、エレベーター、車椅子用のトイレ、駐車スペース、幼児用のトイレ、ベビーベッド、低い書架等です。この他に、車椅子や、老眼鏡も用意しています。気軽に図書館員に申しつけてください。

バリアフリーの精神を生かすためには、まわりの人の心づかいが大切になります。玄関前のレンガ敷きの所や、スロープの近くに自転車やバイクを置かないようにしてください。自動車は決められた枠の中に駐車してください。よろしく願いいたします。

行事予定・・・新型コロナウイルス感染拡大防止のため、予定を変更する場合があります。

◎3月 特設展示（芥川賞・直木賞展・新生活を応援する本）

1日（月）

2日（火）**休館日**

3日（水）押し花「ふしぎな花クラブ」 12:00～16:00

4日（木）英会話講座 昼の部 13:00～14:10

5日（金）エルマーの工房 13:30～

6日（土）**おたのしみ会「ぐりとぐらの世界を楽しもう！」**

14:00～15:00

7日（日）**蔵書点検休館日**

8日（月）**蔵書点検休館日**

9日（火）**休館日**

21日(水)
22日(木)
23日(金) こども読書週間 ～5/12
エルマーの工房 13:30～
24日(土) おはなしトトロ 14:00～
25日(日)
26日(月)
27日(火) **休館日**
28日(水)
29日(木) **昭和の日**
30日(金) **月末整理休館日**

展示・催し案内・・・新型コロナウイルス感染拡大防止のため、予定を変更する場合があります。

◎特設コーナー 3月

場所 カウンター前の特設架

内容 芥川賞・直木賞展・新生活を応援する本

◎おたのしみ会「ぐりとぐらの世界を楽しもう！」

期日 3月6日(土) 14:00～15:00

対象・定員 幼児～一般・20名

※ 申込受付は終了しました。

場所 2階視聴覚室

参加費 無料

内容 「ぐりとぐら」シリーズの読み聞かせ
マスコットプレゼントがあります。

◎水墨画展

期日 3月19日(金)～28日(日) 10:00～18:00

ただし、19日(金)は、13:00～18:00

場所 2階展示室(南)

28日(日)は、10:00～16:00

内容 水墨画同好会の作品を展示します。

◎特設コーナー 4月

場所 カウンター前の特設架

内容 桜・お花見の本

図書館ボランティア

(どなたでも参加できます。お手伝い下さい。)

◎おはなしボランティア「おはなしトトロ」

・日時 第2・4 土曜日 14:00～

・内容 読み聞かせ・パネルシアター・エプロンシアター・

ストーリーテリング・手遊びなどの練習、おはなし会やおはなし宅配便への参加・実演。

◎手づくりボランティア「エルマーの工房」

・日時 毎週 金曜日(祝日を除く) 13:30～

・内容 おはなしのキャラクターやパネルシアター・エプロンシアターの作製。

趣味の会・学習会 新入会員募集中

◎組木の広場「木楽工房」

- ・日時 毎月第2日曜日 10:00～16:00
- ・内容 組木作製 *材料費実費負担

◎ちぎり絵教室「紙遊会」

- ・日時 毎月第2日曜日 9:00～16:00
- ・内容 ちぎり絵作製 *材料費実費負担

◎押し花「ふしぎな花クラブ」

- ・日時 毎月第1水曜日 12:00～16:00
- ・内容 おしばな作品作製 *材料費実費負担

◎里庄歴史勉強会

- ・日時 毎月第4日曜日 13:30～15:30
- ・内容 近隣市町村の歴史研究 *資料制作費負担

◎清明研究会

- 日時 毎月1回 13:00～ 2時間程度
- 会場 里庄図書館 2階視聴覚室 その他
- 内容 佐藤清明についての研究、資料の整理など

新着本の案内

1月中旬から2月上旬に購入した図書の一部です。

大人の本

◎ 工学・工業

▽そこに工場があるかぎり (小川 洋子:集英社)

国内唯一の競技用ボート、ベビーカー、大人の色鉛筆…。日本の繊細でユニークなものづくりの愛おしさと本質、携わる人々の思いを伝える珠玉の工場見学エッセイ。

◎ 古典文学・文学史・作家論

▽妖怪少年の日々 (荒俣 宏:KADOKAWA)

知の巨人・荒俣宏はいかにして形作られたか。海や虫やお化けと戯れた少年時代、幻想・怪奇文学に出会った学生時代、「世界大博物図鑑」を完成させた社会人時代…。人生の軌跡を網羅した自伝。

◎ 日本の小説

▽メイド・イン京都 (藤岡 陽子:朝日新聞出版)

京都の資産家の跡継ぎからプロポーズされた美咲は、意気揚々と京都の地に降りたものの、たちまち京都人達から洗礼を浴びる。京都の美しい西陣織に触れるうち、美咲は美術学生時代に熱中したものづくりの喜びを思い出し…。

▽ラストは初めから決まっていた (小手鞠 るい:ポプラ社)

岡大の教室から巣立って、聖徳太子ゆかりの地、奈良・王寺町へ飛んでいったこと。 「恋人の聖地」で、ことりを待ち受けていたのは…。

▽ゴールデンタイムの消費期限 (斜線堂 有紀:祥伝社)

書けなくなった高校生小説家・文彰に、若き天才を集めて交流を図るプロジェクトの招待状が届いた。だが、その真の目的は、人工知能とのセッションを通じた、自分たちの「リサイクル計画」であることが明かされ…。

▽羊は安らかに草を食み (宇佐美 まこと:祥伝社)

認知症を患い、日ごと記憶が失われてゆく老女には、それでも消せない「秘密の絆」があった。86年の人生を遡る最後の旅が、囃らずも浮かび上がらせる壮絶な真実とは。

▽猫がこなくなった (保坂 和志:文藝春秋)

高平君がうちに来て、涙ながらにいなくなった猫の話をはじめた。聞けば聞くほど私が外で世話していたキャシーそっくりで…。忘れがたい猫達や風景、書物をめぐる9つの短篇を収録。

▽おたがいさま (群 ようこ：角川春樹事務所)

元住人のコナツさんの新しい彼とその子どもとのことを心配したり、折合いが悪かった母親が倒れたり…。いろいろあるけれど、自由に穏やかに、キョウコは今日ものんびり幸せに暮らしています。「れんげ荘」シリーズ第5弾。

▽零から0へ (まはら 三桃：ポプラ社)

戦後、一家を支えるために大学をやめ鉄道総局の研究所に入所した聡一。そこには、戦闘機の設計や製作に関わり、多くの命を奪う結果を生んだことを悔いる軍出身の技術者たちがいた。聡一は彼らとともに新幹線の開発に没頭し…。

▽旅する練習 (乗代 雄介：講談社)

中学入学を前にしたサッカー少女と、小説家の叔父。ふたりは、コロナ禍で予定がなくなった2020年の春休み、利根川沿いに徒歩で千葉の我孫子から鹿島アントラーズの本拠地を目指す旅に出て…。

▽ばあさんは15歳 (阿川 佐和子：中央公論新社)

高校入学を目前に、ふとした異変で昭和にタイムスリップした菜緒。愛想なしの祖母を相棒に東京タワーから始まる物語は、出会いと発見にあふれ…。孫娘とばあさんの時をまたぐ冒険を描く。

▽花は散っても (坂井 希久子：中央公論新社)

母親離れができない優柔不断な夫に見切りを付け、家を出た美佐は、東京の下町・谷中で着物のネットショップを切り盛りしている。ある日、実家の蔵で、箆笥に仕舞われた銘仙、謎の写真、3冊のノートを見つけ…。

▽商店街のジャンクション (村木 美涼：早川書房)

人生に疲れた3人の男女が出逢ったのは、愛らしい犬のかぶりもの。かわるがわる中に入って、商店街で映画のチラシを配るうちに、各々の悩みはときほぐされていき…。岐路に立った人に贈る、体も心も包み込む物語。

▽コンジュジ (木崎 みつ子：集英社)

独り、過酷な現実を生きている小学生のせれなの人生に伝説のロックスター・リアンが舞い降りた。その美しい人は、せれなの生きる理由のすべてとなって…。一人の少女による自らの救済を描く。

▽ヘーゼルの密書 (上田 早夕里：光文社)

激化する日中の対立関係。新たな大戦へと着実に向かう中、それでも戦争を回避すべく、日中和平工作にすべてをかけた人々がいた…。幻の和平交渉に光を当てた長編歴史小説。

▽ワンダフル・ライフ (丸山 正樹：光文社)

事故で重度の障害を負った妻を自宅で介護する「わたし」。なんのために、こんな生活が続いているのか…。「わたし」の物語と、さまざまな悩みを抱える男女の物語が絡み合い、繋がる時、慟哭の真実が明かされる。

▽イグジット (相場 英雄：日経 BP)

仙台の銀行に勤める女性が自殺する。月刊言論構想記者の池内は、かつての恋人が死んだ理由を探るうち、金融業界の末期的状況、さらにこの国の財政が直面する未曾有の危機を知り…。

▽飛石を渡れば (一色 さゆり：淡交社)

従姉に頼まれ、3年前に亡くなった祖母の茶道具を整理することになった星那。茶道の稽古場に通いながら、少しずつ自分の働き方、生き方を見つめ直していき…。

▽料理なんて愛なんて (佐々木 愛：文藝春秋)

料理嫌いな優花は、ずっと好きだった真島に高級バレンタインチョコを渡すも「好きな人に手作りチョコをもらったから」と振られてしまう。“料理は愛情”というけれど、料理が嫌いな優花の愛情は一体どこに!?

▽ははのれんあい (窪 美澄：KADOKAWA)

シングルマザーになった「はは」と、代わりに双子の弟たちの「はは」役を務める僕。歪な家族があってもいい、どんな形でも家族は家族だから。

▽ヘルメースの審判 (楡 周平：KADOKAWA)

家電製品の発火による死亡事故で、経営体質を非難された世界的電気機器メーカー・ニシハマ。創業家一族に婿入りした梶原賢太は、ニシハマが窮地を脱するための極秘計画に携わることに…。

▽十年後の恋 (辻 仁成：集英社)

パリで暮らすシングルマザーのマリエ。小さな投資グループを主宰するアンリ。運命的なふたりの出会いは、新型コロナウイルスに翻弄され…。新しい世界の永遠の恋心を描いた長編小説。

▽アクティベーター (沖方 丁：集英社)

羽田空港に突如、中国のステルス爆撃機が飛来した。女性パイロットは告げる。「積んでいるのは核兵器だ」と。これはテロか、宣戦布告か。展開予測不能の国際サスペンス。

▽あなたがはいというから (谷川 直子：河出書房新社)

37年ぶりに再会した瞳子と亮。かつて恋人同士だったふたりは、今も変わらぬ互いへの思いに気づく。だがそれぞれ妻として、作家として生きるためについた嘘が次第に暴かれていき…。還暦の恋を描く。

▽アンブレイカブル (柳 広司：KADOKAWA)

1925年、治安維持法成立。太平洋戦争の軍靴の響きが迫るなか、罪状捏造に走る官憲と信念を貫く男たちとの闘いが始まった。小林多喜二、三木清…。法の贅となった、敗れざる者たちの矜持を描く。歴史スパイ・ミステリー。

▽野望の屍 (佐江 衆一：新潮社)

1925年、刊行直後の「我が闘争」を熟読した石原莞爾は、その野心をたぎらせていた。高まる自国主義のなかで共振する日独、満州の謀略。国家のスローガンに万歳が応え、日常は塗りつぶされていく…。

▽睦家四姉妹図 (藤谷 治：筑摩書房)

仕事も恋も活発な長女、素直だが男運の悪い次女、シニカルだけど憎めない三女、自由に生きる末っ子。時は流れ人は変われど、睦家に集う女たちの絆は変わらず…。平成の日本を活写するお茶の間物語。

▽国道食堂 (小路 幸也：徳間書店)

田舎にあるけれど、何を食べても美味しい食堂<ルート 517>。そこは、お店の中にプロレスのリングがある。そこで結婚式を挙げることに!? ちょっと変わった店に通う人々の様々なドラマを描く。

◎ 歴史・時代小説

▽応仁悪童伝 (木下 昌輝：角川春樹事務所)

妖しいほどの美貌をもつ稚児と、両刃の剣を操る能役者。山名宗全、細川勝元らが激突する応仁の京で、ふたりは業と知恵と美貌を武器に、命を賭して戦い…。書下ろし長編歴史エンターテインメント。

▽公孫龍 巻1 青龍篇 (宮城谷 昌光：新潮社)

周王朝末期、人質として燕に送られることになった王子稷。父王から託された燕王宛の書翰には、王子を殺すようにと書かれていた。王宮内の陰謀に巻き込まれたことを知った稷は…。

▽天下一のへりくつ者 (佐々木 功：光文社)

天正18年、小田原城は豊臣秀吉の大軍勢に囲まれ、北条家の命運は今や風前の灯だった。誰もが策を見いだせず諦めかける中、亡き北条氏康の寵臣にして小田原一のへんくつ坊主侍・板部岡江雪が動き出す。

▽小説秋月鶴山 (童門 冬二：PHP 研究所)

「下意上達」の組織作り、世界初の児童手当、理想の藩校の設立…。上杉鷹山が尊

敬し続けた兄で、何よりも「人」を大事にした名君、高鍋藩 7 代藩主・秋月鶴山(種茂)の生涯を描く歴史小説。

▽もろびとの空 (天野 純希：集英社)

戦国末期、別所長治は信長に叛旗を翻す。織田勢を率いる秀吉の猛攻と「干殺し」に耐え、暮らしを守ろうと刀を握った人々の、歴史に記されなかった生を描く。

▽鼠、十手を預かる (赤川 次郎：KADOKAWA)

次郎吉、目明しに転身!? うっかり十手を預かったばかりに、迷子捜しに夫婦喧嘩の仲裁と、慣れない御役目に大忙し…。大泥棒・鼠小僧次郎吉が江戸を駆け巡る! 「鼠」シリーズ第 12 弾。

◎ 推理・ミステリー

▽愚か者(フリムン)の島 (乾 緑郎：祥伝社)

原始的な生活を夢見て無人島にやってきた不倫中の土岐と咲良。しかしそこには、殺人犯の公則が。正体を偽る公則とふたりの奇妙な共棲は、うまく運ぶかに見えたが、ワケありの男女が次々上陸し、“愚か者の島”と化していき…。

▽フシギ (真梨 幸子：KADOKAWA)

三人目の女が、先生のところに現れませんように。死んだはずの人からの不思議なメール、それが全ての始まりだった。連続する不審死、壊れていく日常…。精緻にして大胆な長編ミステリー。

▽鬼哭の銃弾 (深町 秋生：双葉社)

警視庁捜査一課の刑事・日向直幸が捜査を命じられた多摩川河川敷発砲事件の拳銃の線条痕が、22 年前に発生した事件で使用された拳銃と一致。迷宮入りしたその事件は、父・繁が担当し…。

▽刑事の枷 (堂場 瞬一：KADOKAWA)

交番勤務から川崎中央署刑事課に異動した若手警察官・村上は、署内で疎まれるベテラン刑事・影山に強引に連れ回される。10 年前の殺人事件を独自に捜査する影山と行動を共にする村上は、やがて未解決事件の解明に惹かれて…。

▽ラスプーチンの庭 (中山 七里：KADOKAWA)

警視庁捜査一課、犬養隼人の娘の友人・庄野祐樹は長い闘病生活を送っていた。自宅療養に切り替えた 1 カ月後に急死した祐樹には奇妙な痣があった。同時期に、同じ痣を持つ女性が自殺し…。

▽擬傷の鳥はつかまらない (荻堂 顕：新潮社)

顧客に偽りの身分を与える「アリバイ会社」を生業とするサチを 2 人の少女が訪ねてきた。数日後、片方の少女がビルの屋上から身を投げた。サチは残された少女を「門」の向こう側へと“逃がす”よう迫られ…。

▽不可逆少年 (五十嵐 律人：講談社)

若き家庭裁判所調査官・瀬良真昼はどんな少年も見捨てない。しかし、狐面の少女が犯した凄惨な殺人事件を目の当たりにして、信念は大きく揺らぐ。不可解なことに、被害者は全員同じ高校に縁のある人々で。

▽水葬 (鏑木 蓮：徳間書店)

限界集落をテーマにしたフォトエッセイを連載していた婚約者・光一が失踪した。自宅の PC に転送された写真を手がかりに、彼の足取りを追う希美は、光一の元交際相手の優子も失踪していることを知り…。書下ろしサスペンス。

◎ ファンタジー

▽銀獣の集い (廣嶋 玲子：東京創元社)

石の卵からうまれる半人半獣「銀獣」。富豪が 5 人の男女に言い渡したのは、1 年後にもっとも優れた銀獣を連れてきた者に財産を譲るという条件で…。表題作をはじめ、美しくてちょっぴり怖い 3 つの物語を収録した短編集。

◎ エッセイ

▽だいちょうことばめぐり (朝吹 真理子：河出書房新社)

家族のこと、ごはんのこと、すぎゆく季節のあれやこれや…。ふとした瞬間よみが

える記憶や、日々の出来事を描いたエッセイ集。

▽大阪 (岸 政彦, 柴崎 友香: 河出書房新社)

大阪へ来た人、大阪を出た人。かつていた場所と今いる場所が「私」を通して交差する。「街の人生」「百年と一日」の著者たちによる、街と時間の呼吸を活写した、初の共著エッセイ。

こどもの本

◎ 社会科

▽大注目!写真とイラストでわかる大正時代をのぞいてみよう (『大正時代をのぞいてみよう』編集委員会: 汐文社)

いまからちょうど100年前の、大正時代とはどんな時代だったのでしょうか? 西洋化がすすんだくらし、大衆が力をつけた大正デモクラシー、戦争と災害など、豊富な写真とイラストで解説します。

▽真実を発見!科学捜査 (石澤 不二雄: 誠文堂新光社)

犯罪捜査に欠かせないいろいろな科学捜査を、架空の事件の捜査を通して解説。鑑識、科学捜査研究所、法医学研究所などの役割分担と仕事も紹介する。理科が好きになるビジュアルブック。

▽未来からの伝言 (那須田 淳: 講談社)

「子ども近未来研究室」に迷いこんだ小学5年生の紗綾たち。そこで、アバターと出会い「SDGs」について話し合うことになり…。物語をとおして、SDGsのことをわかりやすく伝える。

◎ 災害・防災

▽こどものための防災教室 (今泉 マユ子: 理論社)

地震や水害、大雪、噴火など、さまざまな災害を生きのびるためには、そなえが大切。避難時に身を守るためのグッズから、水・トイレ・衛生用品など生活に必要な日用品のそなえかたまで紹介。

◎ 理科・自然科学

▽絶景のふしぎ100 (佐野 充: 偕成社)

地球上には数多くのふしぎな地形が形成されている。切り株のような形の丘、一直線にならんだ岩の塔、鳴門海峡の渦潮など、世界と日本の美しい風景・すごい地形がどうやってできたのかを、多くの写真とともに解説する。

▽海をこえて虫フレンズ (吉野 万理子: 講談社)

ヘラクレスオオカブトを逃がしたらいけない理由って? 身近な昆虫、身近な植物を観察することで、私たちが生きる陸で起きている変化が見えてくる。物語をとおして、SDGsのことをわかりやすく伝える。

◎ 生活

▽こども衛生学 (宮崎 美砂子: 新星出版社)

インフルエンザ、新型コロナ、食中毒…。衛生学の知識をもとに、普段の生活の中で、自分や周囲の人の生命や生活を守るために知っておいてほしいこと、行動できるようになってほしいことをイラストと共にわかりやすく説明する。

◎ 環境問題・資源・エネルギー

▽水とトイレがなかったら? (石崎 洋司: 講談社)

蛇口から水が出る。家にシャワートイレがある。これって、ふつうじゃないの? 春樹はタイムマシンで、むかしの世界中の都市の水とトイレをめぐる旅に出かけ…。物語をとおして、SDGsのことをわかりやすく伝える。

▽夢の発電って、なんだろう? (森川 成美: 講談社)

CO2を排出しない発電が一番ってホント? 佳幌の転校先に、ソーラー発電しか認めない子がいた。ある事件をきっかけに、佳幌たちは「いい発電」について考えはじめ…。物語をとおして、SDGsのことをわかりやすく伝える。

◎ スポーツ・アウトドア

▽わかるかな? 小学生の陸上競技ルール (三浦 敬司: ベースボール・マガジン社)
ルールを知ること、もっと成績が伸びて、もっと陸上競技が楽しくなる! 小学生指導の達人が、陸上競技の基本の知識や覚えておきたいルール、間違いやすいルールを、写真やイラストとともに伝える。

◎ 日本の作品

▽くもとり山のイノシシびょういん (かこ さとし: 福音館書店)

たぬきの母さんと子どものポンちゃんは、イノシシ先生の病院にやってきました。イノシシ先生は、おなかが痛いというポンちゃんのおなかをゆっくりさすって…。

▽オニタロウ (こさか まさみ: 福音館書店)

カキの木山に住むやさしいオニのオニタロウは、30 人子分がいると、とうさんオニにうそをついてしまいました。子分を探していたオニタロウは、「たけのこえん」の庭で遊んでいるこどもたちを見つけて…。

▽うさぎのモニカのケーキ屋さん (小手鞠 るい: 講談社)

森の中の「モニカのケーキ屋さん」。うさぎの姉弟がつくるケーキをめあてに、お店のテーブルはお客さまでいっぱい。と、そのとき、くまのおじいさんがお店へ入ってきて…。かわいさし絵満載の、1 年生がひとりで読める童話。

◎ 日本の絵本

▽たぬきのおまじない (丸山 誠司: 絵本館)

おいらはたぬき。どんな「た」でも抜いちゃうぞ。大きな「たか」は、「た」をぬくと小さな「か」になった。盗賊が見つけた「たからばこ」は、「た」をぬくとだだの「からばこ」に。怒った盗賊が、たぬきを追いかけたら…。

▽会いたくて会いたくて (長谷川 義史: 小学館)

ひまわりホームにいるおばあちゃん。ママからは「ホームへしばらく行っちゃダメ!」と止められたけど、ケイちゃんはおばあちゃんに会いに行き…。大切な人を想う気持ち、柔らかであたたかい色彩で描き出す。

◎ 外国の絵本

▽せかいでさいしょにズボンをはいた女の子 (キース・ネグレー: 光村教育図書)

今から約 150 年前、女性はズボンをはいてはいけないという常識に疑問を投げかけ、非難されても抵抗した少女がいた。後に女性初の軍医として活躍し、フェミニストとして知られたメアリー・E・ウォーカーの幼い日を描く。

▽おばけのジョージこいぬをつれだす (ロバート・ブライト: 好学社)

ホイッティカーさんの家の屋根裏に住んでいる、やさしいおばけのジョージ。ある日、ジョージは散歩に出たがっていた近所の子犬マフィン、ご主人がお昼寝中に外へ連れ出したのですが…。

▽4 ひきのちいさいおおかみ (ヨゼフ・ヴィルコン: 徳間書店)

夜、お母さんおおかみが食べ物を探しに出かけているうちに、巣穴の外に出た、4 ひきの子もたち。背の高いもみの木、輝く湖、ちいさい生き物…。初めて森のなかを冒険するおおかみの子もたちの様子を描く、楽しい絵本。

▽このまちのどこかに (シドニー・スミス: 評論社)

飼い猫を探して、街を歩く。街のなかで、小さなものはどんな気持ちでいる? タクシーのクラクション、鳴り響くサイレン。通りは騒がしく、頭がパンクしそうになるだろう。でも、信じてる。君はきっと大丈夫だと…。

利用案内

開館時間

(12月1日～3月末まで)

▽ 午前10時～午後6時

(ただし、日曜・祝日は、午前9時～午後5時)

(4月1日～11月末まで)

▽ 午前9時～午後7時

(ただし、日曜・祝日は、午前9時～午後5時)

休館日

▽毎週 火曜日

▽毎月 第3日曜日

月末整理日(月末が火曜日等で休館の場合は、その前日を休館)

▽年末年始(12月28日～1月3日)

▽蔵書点検日(3月7日～13日)・年度末整理(3月31日)



里庄町立図書館キャラクター 里庄町キャラクター
ふくちゃん & 里ちゃん

里庄町立図書館ニュース
No. 334 2021. 3. 1
岡山県瀬口郡里庄町里見2621
電話 0865-64-6016